

交通船事業の採算性は

鎌田 哲彰 議員

答 一元化を検討



により、車両の落ち込みが激しい。

鎌田 車両は1日平均何台が採算ベースか。

市長 1日当たり170台で採算が合うと見込んでいます。

鎌田 市営フェリーが6便になってからの輸送量状況は。

市長 昨年10月から本年3月までの半年間の比較で、前年実績の51.9%です。

鎌田 民間航路の利用状況は把握しているか。(特に通勤車両の数は)

市長 把握はしているが通勤との仕分けは難しい。どの航路もETC割引等

鎌田 宇品発7時35分ー高田着8時14分(始発)の通勤車両の平日利用状況は。

市長 4・5月の2ヶ月では、平均8台です。

鎌田 フェリーを三高港に一元化することは。

市長 民間企業との調整を図り、運航形態の見直しを含め、検討する。

圧迫する方法は取れない。

鎌田 一元化の中で、三高ー高田ー中町を経由する夜間便はできないか。(救急艇の役目も果たす)

山西副市長 必要性はわかるが、採算が合わない。

鎌田 陸路で通勤している車に対し、運賃を半額にして、利用増大は図れないか。

企業局長 税金を投入している以上、民間航路を

市長 フェリー減便は、結果的に利用者不便をかけるが、生活航路は守らねばならない。

みんなの知恵を結集して、早い機会に一元化をすべきと考えている。



▲ 市営船と棧橋 (能美町中町)



答 協働のまちづくりを推進

登地 靖徳 議員

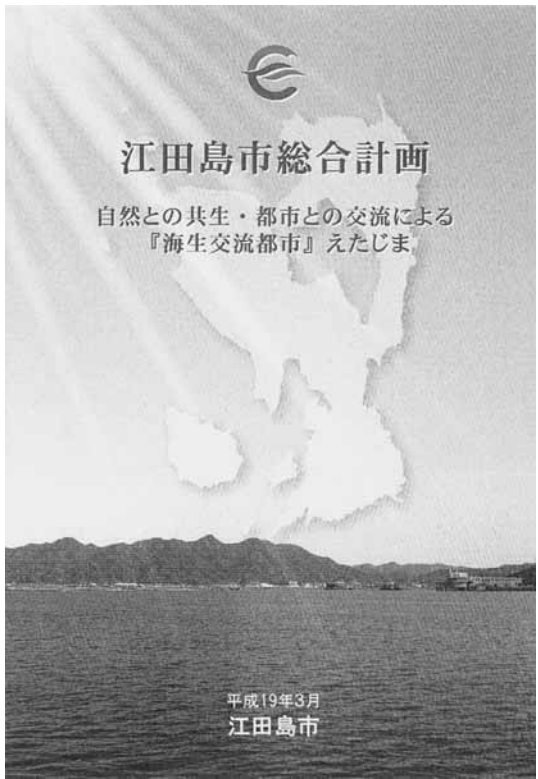
合併5年間の総括と展望

の一元化や協働のまちづくりを全的に推進している。

登地 江田島市の将来展望でどのような市に持つて行くか、大きな基本路線を示すべき。

店がダメになる、学校がダメになる、産業がダメになる、交通アクセスが悪くなる。その結果人口の流出がおきる。これは地域に魅力がなくなるからで、魅力のある所には人が集まる。魅力のある町づくりをお願いしたい。

一例を言えば、テレビ・新聞が度々来る町は魅力のある町、活気のある町であり、市長が先頭に立ってアクションを起こして欲しい。



▲ 江田島市総合計画書

市長 「1市4制度」の解消、組織体制の縮小や廃止にも取り組んできた。組織体制の見直し後は、「住民サービスの向上」という観点において、学校教育環境の充実また、市民サービスセンター、子育て支援センターを新規に設置するなど、対応策も講じた。その他にも、バス路線

情報インフラの整備を

扇谷 照義 議員

答 民間事業者に働きかける

信や衛星等を利用した通信が普及しつつありますが、基盤整備に膨大な費用が必要であり本市への民間での導入は見送られている状況であります。NTT等民間の通信事業者に整備促進を働きかけていきます。

当面は、ADSLの設備追加工事を早急に実施してもらうよう関係者へお願いいたします。

扇谷 小・中学校はパソコンを使用していますが、専門の先生は?

教育長 専門の先生はいません。



▲ 大柿町南部